

広島SDGsコンソーシアムにおける ESDの取組と施策

広島大学 文部科学省令和6(2024)年度ユネスコ活動補助金 SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業

広島SDGsコンソーシアム

SDGsを達成するために、グローバル・コンピテンシーを達成できる教員のスキルアップを目指して活動しています。

TOP 事業目的 コンソーシアムの活動 年間計画 オンデマンド配信 連携機関・リンク

お知らせ News

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

25/01/17 研修会・セミナー・ワークショップ オンデマンド配信のご案内

24/12/15 2025.1.21 セミナー『「子どもを見る」ということ』

新着情報 Activity Report

25/01/17 NEW 奈良教育大学ESD・SDGs センターから「全国ESDコンソーシアム/ステークホルダー円卓会議2025」のご案内がありました。

24/12/15 1月21日火曜にセミナーを開催します。

24/12/13 1月7日火曜にセミナーを開催します。

全国ESDコンソーシアム/ステークホルダー
円卓会議2025

広島大学
永田忠道

2025年2月22日

奈良教育大学管理棟 大会議室



広島SDGsコンソーシアム組織図

大学



広島文化学園大学



安田女子大学
安田女子短期大学



志す、こころ輝く。

広島文教大学



広島修道大学



企業



中国新聞



広島大学

機関

広島県ユネスコ連絡協議会

広島県ユネスコスクール連絡協議会

広島市青少年センター

EPOちゅうごく

JICA中国



広島県教育委員会

広島市教育委員会

東広島市教育委員会

文部科学省 令和6（2024）年度 ユネスコ活動費 補助金 SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業

（2）教師教育の推進

地域社会と共にSDGs実現の中核を担う包括的教員研修システムの構築

本事業は地域社会と共にSDGs実現の中核を担う教員研修を目的に、教員の資質・能力の育成を図るべく、広島県ユネスコ連絡協議会をはじめ広島県内外の大学、教育委員会、民間企業等の多様な連携による研修会等の開催と、研修記録の配信、全国の事業体との研修情報の共有化により包括的で開かれた教員研修システムを構築する。

日時	場所	内容
6月29日（土） 9:30～13:00	広島大学 第1回セミナー （ハイブリッド形式）	教員、大学生・高校生、および一般の方々を対象に、元香港教育局主席調査官のBrian Lee先生による「ライフプランニング教育の理論と実践」をテーマとしたセミナーを対面とオンラインにより開催した。
7月27日（土） 13:00～15:30	広島大学 第1回研修会 （ハイブリッド形式）	教員、大学生・大学院生を対象に、立命館大学教授の角田将士先生による「学校で戦争を教えるということ」をテーマにした講演会と、実践発表3件（広島大学附属東雲小学校、広島大学附属東雲中学校、広島県立高陽高等学校）からなる研修会を開催した。
10月15日（火） 13:00～15:30	広島大学 第2回セミナー （ハイブリッド形式）	教員、大学生・大学院生を対象に、体奏家・ダンスアーティストの新井英夫氏と板坂記代子氏による「からだを奏でる～体育のような国語のような音楽のような図工のようなヘンテコな授業～」をテーマとしたセミナーを開催した。
12月7日（土） 13:00～15:30	広島大学 第2回研修会 （ハイブリッド形式）	教員、大学生・大学院生を対象にして、「ミュージアムジャック：社会教育施設や地域を核とした学校種間の接続」をテーマとして静岡大学教授 の田宮縁先生による講演と第10回広島県ユネスコE S D × S D G s大賞の表彰式と表彰団体の実践発表会を実施した。
12月14日（土） 10：00～11：00	広島大学 第3回セミナー （オンライン形式）	教員、大学生・大学院生を対象にして、シンガポール日本人学校教諭の見島泰司先生による「シンガポールでの経験とグローバルクラスの取組」をテーマにしたオンラインセミナーを開催した。
12月14日（土） 11:00～12:00	広島大学 第4回セミナー （オンライン形式）	教員、大学生・大学院生を対象にして、「フィリピンでの経験とネグロス島と大崎上島」をテーマとして、一般社団法人まなびのみなと代表理事の取釜宏行氏を講師としてオンラインセミナーを開催した。
1月4日（日） 13:30～17:00 1月5日（月） 9:30～16:30	広島大学 第5回セミナー （ハイブリッド形式）	教員、大学生・大学院生を対象にして、NY州公認スクールサイコロジストのバーンズ亀山静子先生と北海道教育大学教職大学院准教授の川俣智路先生による「UDLの理解を深めよう！「WHAT'S UDL? UDL基礎講座」「UDLをブラッシュアップ」」をテーマにしたセミナーを開催した。
1月7日（火） 16:30～17:30	広島大学 第6回セミナー （オンライン形式）	教員、大学生・大学院生を対象にして、「フィンランドでの生活と研究と教師教育へのまなざし」をテーマにして、フィンランド・オウル大学の植松希世子氏によるオンラインセミナーを開催した。
1月21日（火） 13:00～15:30	広島大学 第7回セミナー （（ハイブリッド形式））	教員、大学生・大学院生を対象にして、「「子どもを見る」ということ」をテーマにして、玉川大学教育学部乳幼児発達学科講師の伊原小百合先生によるセミナーを開催した。
2月26日（火） 17:30～19:00	広島大学 第8回セミナー （オンライン形式）	教員、大学生・大学院生を対象にして、「フィンランドでの生活と研究と教師教育へのまなざし」をテーマにして、フィンランド・オウル在住の植松希世子氏と島田彩子氏によるオンラインセミナーを開催した。



文部科学省 令和6(2024)年度 ユネスコ活動費補助金(SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業)
「地域社会と共にSDGs実現の中核を担う包括的教員研修システムの構築」

主催 広島SDGsコンソーシアム

2024年度 第1回広島SDGsコンソーシアム研修会

対象: SDGs, ESDに関心のある学生・教職員・一般の皆様

第1部 講演(講師:立命館大学 教授 角田将士 先生)

『学校で戦争を教えるということ』

プロフィール

大分県別府市生まれ。立命館大学産業社会学部教授。広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了, 博士(教育学)。広島大学大学院教育学研究科助手, 立命館大学産業社会学部准教授を経て2021年より現職。

単著

『学校で戦争を教えるということ』(学事出版, 2023年), 『NG分析から導く 社会科授業の新公式』(明治図書, 2022年), 『戦前日本における歴史教育内容編成に関する史的研究』(風間書房, 2010年)

第2部 実践発表

実践発表1 広島大学附属東雲小学校(古石卓也先生)
「共生社会に生きる主体として自立的・協働的に学び育つ児童の育成」

実践発表2 広島大学附属東雲中学校(高木由希先生)
「知的障害特別支援学級におけるキャリア教育～卒業生とかかわり、語り合う実践から～」

実践発表3 広島県立高陽高等学校(校長 森田晋也先生)
「高陽高校のMAPLE - 高校生によるまちづくり研究 -」
(3年: 高田一花さん, 先原実来さん, 佐々木悠吾さん, 野津山怜央さん)

講評 立命館大学 教授 角田将士 先生

7/27 Sat 13:00-15:30
広島大学教育学部L205及びオンライン開催

参加費は無料です。QRコードまたは広島SDGsコンソーシアムのHPより
7月26日(金)までお申し込みください。
お問い合わせ 広島SDGsコンソーシアム事務局(広島大学教育学部内)
メール: unesco16@hiroshima-u.ac.jp HP: <https://unesco16.hiroshima-u.ac.jp/>



広島SDGsコンソーシアムは、以下の団体により構成されています。
広島大学 広島県教育委員会 広島市教育委員会 東広島市教育委員会 福山市教育委員会 広島修道大学
広島市立大学 広島文化学園大学 広島文教大学 福山市立大学 安田女子大学 広島県ユネスコ連絡協議会
中国新聞社 中国電力 広島県ユネスコスクール連絡協議会 広島ガス 中国地方ESD活動支援センター EPO中国 JICA中国



文部科学省 令和6(2024)年度 ユネスコ活動費補助金(SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業)
「地域社会と共にSDGs実現の中核を担う包括的教員研修システムの構築」

主催 広島SDGsコンソーシアム

2024年度 第2回広島SDGsコンソーシアム研修会

対象: SDGs, ESDに関心のある学生・教職員・一般の皆様

第1部 講演(講師:静岡大学 教授 田宮 縁 先生)

ミュージアムジャック 社会教育施設や地域を核とした学校種間の接続

幼児教育学、生活科教育学、総合学習の時間など環境との相互作用の中で、総合的に学ぶことを研究の領域としています。特に、教育実践、教育現場に軸足を置いた研究が中心で、現場の先生方や社会教育施設、地域の人などとかかわりながら研究を進めています。ESD、教師教育、学校種間の接続についてなど現代的な課題が興味の対象です。

第2部 第10回 広島県ユネスコESD×SDGs大賞 表彰式・発表会

実践発表1 一般社団法人しわのわ 笠井 礼志 代表理事
「茅葺き保全プロジェクト」

実践発表2 広島大学附属高等学校ユネスコ班 鶴田 輝樹 教諭, 生徒の皆さん
「クラブ活動を中心としたSDGs推進に向けた取り組み」

講評 静岡大学 教授 田宮 縁 先生

12/7 Sat 13:00-15:30
広島大学教育学部L102及びオンライン開催

参加費は無料です。QRコードまたは広島SDGsコンソーシアムのHPより
12月2日(月)までお申し込みください。
お問い合わせ 広島SDGsコンソーシアム事務局(広島大学教育学部内)
メール: unesco16@hiroshima-u.ac.jp HP: <https://unesco16.hiroshima-u.ac.jp/>



広島SDGsコンソーシアムは、以下の団体により構成されています。
広島大学 広島県教育委員会 広島市教育委員会 東広島市教育委員会 福山市教育委員会 広島修道大学
広島市立大学 広島文化学園大学 広島文教大学 福山市立大学 安田女子大学 広島県ユネスコ連絡協議会
中国新聞社 中国電力 広島県ユネスコスクール連絡協議会 広島ガス 中国地方ESD活動支援センター EPO中国 JICA中国



文部科学省 令和6（2024）年度 ユネスコ活動費補助金（SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業）
「地域社会と共にSDGs実現の中核を担う包括的教員研修システムの構築」



講師
Brian Lee先生
元香港教育局主席調査官
Guidance and Discipline部門担当
(当日は英語 日本語の翻訳があります)

COMING SOON

日時・場所

2024年6月29日(土)

9:30～13:00 (9:15～受付)

広島大学東千田キャンパス
未来創生センター2F GW室

※オンラインは講演および、ワークの様子の見学のみ可能です。ワークへの参加はできません。ご了承ください。

Theory and practice of promoting life planning education

ライフプランニング教育の理論と実践

香港では2000年からの生徒指導改革により、20年来、包括的な生徒指導アプローチを自国の教育に併せて発展させてきました。さらに、2011年に降学校ではキャリアガイダンスに対してより包括的なアプローチを進めていくことが推進されており、ライフプランニング教育は、生徒の全人的な成長を促進するための重要なプログラムの1つとみなされています。

このワークショップでは、これまで教育行政の立場から香港の生徒指導をリードしてきたブライアン・リー氏から、香港におけるライフプランニング教育の主な原則と構成要素を紹介していただきます。さらに、参加者のみなさんがこれらの構成要素を実際に体験し、教育について考えるためのワークも実施しながらその実践を学びます。

JOIN NOW! 参加申込はQRより




お問い合わせ先:
広島SDGsコンソーシアム事務局
(広島大学教職大学院 山崎真) 082-424-4281
akamey[at]hiroshima-u.ac.jp



文部科学省 令和6（2024）年度 ユネスコ活動費補助金（SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業）
「地域社会と共にSDGs実現の中核を担う包括的教員研修システムの構築」



からだを奏でる 体育のような 国語のような 音楽のような 図工のような ヘンテコな授業

体音楽・ダンスアーティストの新井英夫さんは、年齢や障害のあるなしを越えたバリアフリーな身体表現ワークショップ「ほぐす・つながる・つくる」を全国の教育・福祉・社会包摂の現場で展開してきました。

教育分野では通常学級だけでなく特別支援学級(学校)でも「おと・もの・うごき」を自由に行き来しながら、自分自身の身体感覚を豊かにし他者の存在も尊重しながら即興的共創を体験するワークショップの実践で定評を得ています。

そんな身体表現の場づくりを探索してきた新井さんですが、2022年夏にALS（筋萎縮性側索硬化症）という全身の筋肉がだんだんと動かなくなってしまいう病気の進行性神経難病に罹患していることが判明しました。「病気になるから障害をサポートする・されるという境目を飛び越えて、初めて気づかされたことがたくさんある。今もその間をゆらゆらと行ったり来たりしながら生きています。日々オモシロイ発見です(笑)」と新井さんは語ります。現在新井さんは手足はかなり不自由になっていますが、電動車椅子を操りパートナーの板坂記代さんと工夫しながらワークショップの仕事を続けています。新井さんからは「病を得てから」の気づきや言語以外のコミュニケーションのヒントについてもご教示いただく予定です。

「誰もがいきいきと存在を肯定しあえる場づくり」について、ワークショップを通してからの実感から学び合う機会にしたいと思います。



講師
新井英夫 Hideo Arai



板坂記代子 Kiyoko Itasaka

参加ご希望の方は、9月30日までにフォームでお申し込みください。
<https://forms.gle/16dWzE9FQh4q4Bd9>
※講師の出席によってはオンライン開催になる場合があります。

お問い合わせ：広島SDGsコンソーシアム事務局
(広島大学教職大学院 寺内大輔) teruchi@hiroshima-u.ac.jp





文部科学省 令和6（2024）年度 ユネスコ活動費補助金（SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業）
「地域社会と共にSDGs実現の中核を担う包括的教員研修システムの構築」



主催 広島SDGsコンソーシアム

対象: SDGs, ESDに関心のある学生・教職員・一般の皆様

オンラインセミナー

シンガポールでの経験とグローバルクラスの取組







シンガポール日本人学校 見島 泰司 教諭

12/14 Sat 10:00-11:00
オンライン開催

参加費は無料です。QRコードまたは広島SDGsコンソーシアムのHPより12月9日(月)までお申し込みください。
お問い合わせ 広島SDGsコンソーシアム事務局(広島大学教育学部)
メール:unesco6@hiroshima-u.ac.jp HP:https://unesco6.hiroshima-u.ac.jp/

広島SDGsコンソーシアムは、以下の団体に構成されています。
広島大学 広島県教育委員会 広島市教育委員会 東広島市教育委員会 福山市教育委員会 広島県立大学 広島市立大学 広島文化学園大学 広島文教大学 福山市立大学 安田女子大学 広島県ユネスコ連絡協議会 中国新聞社 中国電力 広島県ユネスコスクール連絡協議会 広島ガス 中国地方ESD活動支援センター EPO中国 JIC中国






文部科学省 令和6（2024）年度 ユネスコ活動費補助金（SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業）
「地域社会と共にSDGs実現の中核を担う包括的教員研修システムの構築」



主催 広島SDGsコンソーシアム

対象: SDGs, ESDに関心のある学生・教職員・一般の皆様

オンラインセミナー

フィリピンでの経験とネグロス島と大崎上島



一般社団法人まなびのみなと 取釜 宏行 代表理事

12/14 Sat 11:00-12:00
オンライン開催

参加費は無料です。QRコードまたは広島SDGsコンソーシアムのHPより12月9日(月)までお申し込みください。
お問い合わせ 広島SDGsコンソーシアム事務局(広島大学教育学部)
メール:unesco6@hiroshima-u.ac.jp HP:https://unesco6.hiroshima-u.ac.jp/

広島SDGsコンソーシアムは、以下の団体に構成されています。
広島大学 広島県教育委員会 広島市教育委員会 東広島市教育委員会 福山市教育委員会 広島県立大学 広島市立大学 広島文化学園大学 広島文教大学 福山市立大学 安田女子大学 広島県ユネスコ連絡協議会 中国新聞社 中国電力 広島県ユネスコスクール連絡協議会 広島ガス 中国地方ESD活動支援センター EPO中国 JIC中国




広島SDGsコンソーシアムにおける ESDの取組と施策の今年度の成果

- ESDやSDGsに関連した教育の質を高めるための教員研修会、授業づくりセミナーなど、資質・能力の育成を目的として多様な教員研修事業を今年度も実施できた。
- 研修会はできるだけ教育方法・内容や教材研究の理論的・実践的な内容を企画し、7月の研修会では立命館大学の角田将士教授による「学校で戦争を教えるということ」、12月の研修会では静岡大学の田宮縁教授による「ミュージアムジャック：社会教育施設や地域を核とした学校種間の接続」の講演と、教育現場からの実践報告を行い、SDGs達成の担い手に必要な資質・能力を育成するために授業方法の改善を図り、参加者から高い評価をいただいた。
- 研修会 2回 のべ188名 (第1回105名、第2回83名)
- セミナー 8回 のべ411名 (第1回64名、第2回35名、第3回66名、第4回60名、
第5回83名、第6回42名、第7回42名、第8回19名)

研修会の事後アンケートに寄せられたお声

角田先生のご講演をはじめ、これからの授業のありかたについて考えることができました。

取組の実際について話を聞くことができ、イメージをもつことができました。トピック的な取組も有難いですが、日常的な取組についてお話を聞いたこともとても有意義でした。また、高陽高校の生徒の発表を聞き、日頃の取組が高校生のあのような頑張り・姿へ結びついていることが分かり、とてもうれしかったです。トピックイメージをもちながら日々の指導を工夫していく大切さを感じました。

特に講演が素晴らしかったと思います。そこから もう少し 議論が深まれば良かったかな と感じています。

戦争、平和は、社会科としての教育内容に止まらない広がり、深み、重みがあります。中学、高校それぞれの発達段階に応じて取り組んでいきたいと思います。

平和学習への再考が必要であることを学べ、自身が主体となって考えるためにもこれまでとは異なる視点を得ることができました。

特に講演では、最初は難しいテーマだと感じていましたが、大変わかりやすく興味深い内容でした。ポスト戦争体験時代を見据えた授業づくりの内容は、実践的で、新鮮な内容でした。各実践発表も、他校の実践の様子や内容を知ることができてよかったです。

様々な立場の方のお話を聞かせていただき、自分の知見を広げることができました。

理論と実践の両面について学ぶ機会をいただき、大変ありがたかったです。

ご講師の角田先生のお話に、研究面・実践面から大変感銘を受けました。

色々な方のお話が聞けて良かったです。特に、高校生の発表に刺激を受けました。

世界にも発信したい

今では「SDGs」の用語を日常的に目にしたり耳にしたりするようになり、この用語が生まれた頃と比べ、私たちの意識も希薄になりがちであると思います。本研修会に参加して、あらためて、平和な世界を実現するのは、私たち一人一人の意識、教育者一人一人の意識によるものであることを実感しました。

社会科教育の研修会であれば「認識を持つ」が一つの答えであってよいと思います。しかし、何人かの質問にあったように、それが実際平和につながるのか、どうつながるのかについての答えが見つかりませんでした。そのことが、この世界の未来に、さらに悲観的な気持ちを強くしてしまうことにつながりました。

角田先生の講演に社会科教員として頷くところが多くありました。本校では世界の平和と人々の幸福のために生きる生徒を育成したいと願っていますが、そのためには情緒的に世界の課題を見るだけでなく、学び・分析して、力をつける必要があると感じています。

3本の実践報告から大いに学びました。東雲小学校の縦横の取り組み、東雲中の特別支援学級の就労と卒業生・保護者の関わり、高陽高校の地域と自分を見つめる活動的な探究、本校の取り組みを振り返りながら伺いました。

角田先生も仰っていましたが、相手を理解するために対話しようとすることや理解しようとする力を育むことが大切だと思いました。

研修会の事後アンケートに寄せられたお声

総合的な学習の時間の柱を平和学習に設定しているため、大変勉強になりました。

8月6日のワンピースの提案、展示を主体的にとらえられる、オープンエンドの問いかけなど目から鱗の内容でした。

大学の先生の講義や、教員の実践発表だけでなく高校生の研究などもあったので、とても新鮮でした。

持続させるためのエネルギーをどのように継承して行くかを考えさせられた。

今日、発表した高校生が10年後、どのように変化しているのかを知りたいと思った。

角田将士先生による、校種別の「学校教育と戦争」の授業展開に興味深く拝聴いたしました。と同時にポスト戦争体験時代の教材開発の必要性を強く感じました。

とても関心を高めるものでした。特に3つの学校の活動はもっと詳しく聞きたかったです。

活動組織、学校の日常の教育活動との関係がもっとわかると、セミナー参加者に、さらにわかりやすくなったかとおもいます。

ごく日常的な活動の中にSDGsなどを感じることができました。無理なく続けられるということも大切だと思います。

田宮先生がお話されていた通り、誰にとっても分かり易く内容が工夫されていてとても学びになりました。SDGsの活動に子どもたちから大人まで幅広い世代でどのように取り組んでいるかを知ることができ、活動の多様さを感じました。また、生徒たちにSDGsの話をする際には、どのように問題解決に取り組むかを考えさせることも大切ですが、どうすれば自分事として捉えてくれるのかという視点も踏まえて授業を行いたいと感じました。

ESD大賞10年間、お疲れ様でした。10年あっという間ですね。発展的解消ということで、今後もローカルかつグローバルな教育の未来に期待しています。ありがとうございました。

崇高な理念も大切ですが、行動そのものの価値ということを考えさせていただきました。

机上の学習では学ぶことができない場面や設定、活動の様子を直接伺うことができ、大変興味深く拝聴しました。ありがとうございました。

いろんな体験的な学習を通じてSDGsへ取り組むということは、児童生徒さんにとっていい経験になったと思う。また、自治体・大学・一般社団法人などから、合力でESDに取り組むことは、重要だと思う

この度は茅葺を保存する活動を知りました。多くの方が興味関心を持ってほしいと感じています。また、静岡大学の先生の質疑応答が非常に参考になりました。本音の部分で話をされたので、非常に良かったと思います。外見上だけのSDGsの取り組みでなく、未来永劫のSDGsの取り組みが大事と感じた次第です。ありがとうございました。

①先生の経験からのミュージアム施設等で発想がある方がいるといないで全然ちがう、②ユネスコの実践発表後のまとめの話がここに残りました。